

〔今昔物語 二十四〕女行醫師家治瘡逃語第八

今ハ氷ス事ヲバ止メテ茶碗ノ器ニ何藥ニテカ有ラム、摺入タル物ヲ鳥ノ羽ヲ以テ、日ニ五六度付ク許也。

〔吾妻鏡 五〕文治元年十月廿日己巳、參河守範賴朝臣相伴參著、中略茶碗具二十、中略同進院之由申之、

〔建武以來追加〕定德政事政所方德政時制 札案文○中略

一ボン、カウバコ、茶ワシ、花ヒン、カウロ、カナ物、已下廿ヶ月タルベキ事付フクノタケヒ廿四ヶ月事○中略

永正十七年二月十二日

丹後守平朝臣
上野介藤原朝臣

〔三内口決〕一器事

木具土器面向之參會會席祝儀ハ必用之候、塗物ノ器○中略青瓷或白大臣朝夕之器也、物一切塗之、逍遙院、稱名院、禁中御會參内之時者、自長橋局朝夕所用之茶碗、密々被召寄令受用候、大臣規模此分ニ候、

○按ズルニ、茶碗ノ器ト云ヒ、茶碗具ト云ヒ、茶碗壺ト云ヒ、白茶碗ト云ヒ、又單ニ茶碗ト云フ、皆茶碗ヲ以テ陶器ノ總稱トセルナリ、宜シク産業部陶工篇陶器名稱條ヲ參看スベシ、

〔業大門屋敷 三〕淀鯉龍門之助

大茶碗に冷酒四五はいひつかけ、腕をさすりこぶしを握り、○下略

〔類聚名物考 調度 十三〕金瑠璃茶碗、こんるりちやわん、これは紺瑠璃の借字なるべし、今も瑠璃手といふ碗有り、禪林小歌注、金瑠璃茶碗、

〔東大寺正倉院御寶庫御開封記録〕御寶物目錄

一硝子茶碗鱗形 一ツ